

平成23年度第2四半期累計事業概況

トップツアー株式会社（本社：東京都目黒区、社長：石川邦大）の平成23年度（平成23年1月～12月）第2四半期累計事業概況をお知らせいたします。

この件に関するお問合せは

広報担当：TEL:03-5704-3777（橋田・芦澤）までお願いいたします。

第 2 四半期累計事業概況

平成 23 年 1 月 1 日から
平成 23 年 6 月 30 日まで

当第 2 四半期累計期間における日本経済は、年初来景気の持ち直しにより上向き傾向にあったものの、東日本大震災、および福島第一原子力発電所での事故の影響とそれに伴う電力不足による節電対策等のマイナス要因を抱え低迷しました。

旅行業界におきましても、年初には羽田空港の国際化や円高基調により海外旅行需要を中心に高まりを見せていたものの、震災・原発事故による影響は極めて大きく、国内外、訪日を問わず旅行中止や出控えが多く発生し、旅行需要は大きく減退しました。

このような環境の下、当社は、年初よりスポーツ事業部を設置し、2012 年に開催されるロンドンオリンピックをはじめとするスポーツ分野への販売強化、また国際旅行事業部を中心とした訪日旅行、さらには法然上人 800 年、親鸞聖人 750 年の遠忌法要といった参拝旅行の各宗教団体への販売強化を図ってまいりました。しかしながら、震災、および原発事故により、当社においても 3 月後半から 5 月にかけて一般法人のみならず修学旅行等の教育関連の旅行にも中止・延期が多発し、個人旅行販売も低迷しました。また風評被害もあり訪日旅行も激減しました。そのような中でも、当社の強みである渉外営業力を活かし、被災地を中心に水道やガスといったライフラインの復旧や仮設住宅設置等の復興関連事業へのサポート体制をいち早く構築し、当社として震災復興に貢献できる取組みを展開しました。また、観光庁が新たに提唱する「ボランティアツーリズム」の推進を受け、社員ボランティア活動を先行し、被災地の実情やニーズを把握した上で、復興支援活動をサポートする「ボランティアツアー」を造成しました。この企画は一般募集のみならず企業内ツアーも含め全国的に取組みました。さらに、「地球の歩き方」を発行するダイヤモンド・ビッグ社と連携し、ボランティアと観光を組合せた商品を造成し販売しました。そのほか、経済復興支援として、地域産品を販売する「Buy 東北」商品を展開しました。

以上の結果、当事業期間の業績は、取扱額 456 億円 32 百万円（前期比 76 億 97 百万円減、14.4%減） 営業収益 59 億 65 百万円（前期比 11 億 30 百万円減、15.9%減）、経常損失 6 億 30 百万円（前年同期損失 2 億 99 百万円）、当期純損失 12 億 8 百万円（前年同期損失 3 億 42 百万円） の計上となりました。商品別にみると団体旅行の当期実績は、取扱額 277 億 59 百万円（前期比 47 億 43 百万円減、14.6%減）、営業収益 45 億 65 百万円（前期比 7 億 30 百万円減、13.8%減）、個人旅行の当期実績は、取扱額 169 億 17 百万円（前期比 27 億 38 百万円減、13.9%減）、営業収益 10 億 19 百万円（前期比 3 億 1 百万円減、22.8%減） の計上となりました。

団体旅行は、新規顧客開拓を進めたものの、取扱額・営業収益とも前年実績を下回りましたが、6 月以降は、ほぼ前年実績近くまで回復しています。個人旅行では、サプライヤーの直販化を含めたインターネット購入へのシフトとコミッションの低額化の動きが依然として進み、団体旅行と同様、東日本大震災の発生による取消や出控えの影響が重なり、取扱額・営業収益とも前年実績を下回りました。

営業費におきましては、業務効率化を推進した結果、前年実績を大幅に下回ったものの、営業収益の落込みを補うには至らず経常損失の計上となりました。また、震災損失や早期退職割増金等を特別損失に計上したことにより、当期純損失が拡大しました。

【参考】国内旅行・海外旅行・訪日旅行区分での概況は以下のとおりです。

国内旅行の当期実績は、取扱額 315 億 21 百万円（前期比 57 億 84 百万円減、15.5%減）、営業収益 43 億 69 百万円（前期比 7 億 20 百万円減、14.2%減） となりました。

海外旅行の当期実績は、取扱額 123 億 47 百万円（前期比 10 億 4 百万円減、7.5%減）、営業収益 13 億 18 百万円（前期比 2 億 50 百万円減、16.0%減） となりました。

訪日旅行の当期実績は、取扱額 11 億 25 百万円（前期比 7 億 58 百万円減、40.3%減）、営業収益 1 億 99 百万円（前期比 1 億 25 百万円減、38.6%減） となりました。

当第 2 四半期累計期間における事業の状況は以上の通りであります。

貸借対照表

(平成23年6月30日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
流 動 資 産	12,768 百万円	流 動 負 債	15,362 百万円
現金及び預金	5,216	未払金	2,849
顧客未収入金	4,736	未精算旅行券	3,904
未収手数料料	160	未払費用	133
短期貸付金	10	未払法人税等	62
旅行前払金	2,303	預り金	103
前払費用	239	前受金	4,922
その他の流動資産	144	旅行前受金	3,300
貸倒引当金	△ 43	リース債務	32
		その他の流動負債	54
固 定 資 産	8,470	固 定 負 債	1,671
有形固定資産	607	退職給付引当金	845
建築物	280	旅行券等引換引当金	651
構築物	0	リース債務	82
機械装置	2	その他の固定負債	91
車両運搬具	3		
器具備品	66	負債合計	17,033
土地	141		
リース資産	112	純 資 産 の 部	
無形固定資産	320	株 主 資 本	4,205
ソフトウェア	291	資 本 金	3,000
ソフトウェア仮勘定	27	資 本 剰 余 金	750
リース資産	1	資本準備金	750
その他の無形固定資産	0	利 益 剰 余 金	455
投資その他の資産	7,543	その他利益剰余金	455
投資有価証券	9	繰越利益剰余金	455
関係会社株式	697		
長期貸付金	91		
関係会社長期貸付金	4,660		
破産・更生債権等	97		
長期前払費用	1		
差入保証金・敷金	958		
前払年金費用	979		
その他の投資等	185		
貸倒引当金	△ 136	純 資 産 合 計	4,205
資 産 合 計	21,239	負 債 及 び 純 資 産 合 計	21,239

※百万円未満については切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成23年1月1日から
平成23年6月30日まで)

科 目	金 額	金 額
	百万円	百万円
営 業 収 益		5,965
営 業 費		5,593
営 業 総 利 益		371
一 般 管 理 費		1,009
営 業 損 失		637
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	35	
その他の収益	8	44
営 業 外 費 用		
支払利息	1	
為替差損	5	
その他の費用	30	36
経 常 損 失		630
特 別 利 益		-
特 別 損 失		535
税引前当期純損失		1,165
法人税、住民税および事業税		43
当 期 純 損 失		1,208

※百万円未満については切り捨てて表示しております。